



移住者名	奥野 真人
都道府県	北海道
移住先	静岡県三島市⇒焼尻島
移住年	2014年
職業	地域おこし協力隊⇒ゲストハウス経営
家族構成	独身
移住形態	1ターン

## Q. 移住したきっかけは？

もともとは南の島めぐりが好きで将来は宿をやりたいと思っていました。しかし、島めぐりを続けているうち、沖縄や伊豆・小笠原諸島といった人気の島々が目立つ一方で、名前もあまり知られていないような島々が多数あり、それぞれの島が島おこしを必要としている現状を知りました。私は移住前はウェブライターとして働いており、時にはそういった課題の多い離島取材することもありました。しかし、そういった島には往々にして「島をなんとかしようとしている人」がおり、多くの苦勞を抱えながらもやりがいを持って奮闘している姿がありました。一過性の観光や、数日程度の取材では到底知りえない世界があることに衝撃を受け、「自分も現場で活動してみたい」と思い立った次第です。

## Q. 移住の際不安に思ったことは？

生活していけるかどうか、少子高齢化がより顕著な島だけに、将来を考えると不安しかなかったです。また北海道の離島だけに、冬をどう暮らすかも心配がありました。また人口200人弱という狭いコミュニティだったので、人間関係（ご近所付き合い）がうまくいくかどうかも心配でした。実際のところ、これらの不安は移住して4年たった今でも解決しているわけではありません。焼尻島に限らず、小規模離島において常につきまとう問題であり、この不安をいかに受け入れつついかに立ち居振る舞うか、誰においても大変なことだと思います。そういう意味での不安は尽きませんが、それでもなんとかこなっています。

## Q. 移住して良かったことは？

挑戦に対する敷居が低いこと。私は現在ゲストハウスの経営、島内ガイド、海藻の採集・販売、ボランティア受け入れ、新聞でのコラム執筆等様々な取り組みを行っていますが、いずれも移住前は想像もしなかった取り組みです。もしこれが都会ぐらしであれば、おそろくなかなか経験できないことばかりではないかと思っています。島に移住し、「焼尻島」の名を借りることで、様々な貴重な経験をさせて頂きました。また、宿を経営しているからか、いろいろな人との出会いがあるためやりがいがあります。



## Q. 移住を考えている方へメッセージ

---

月並みではありますが、よく考え、よく相談することをお勧めします。上辺だけの良い話だけでなく、想像しうる課題やストレスまでしっかりと受け止める覚悟がなければ後々大変な思いをすることになると思います。しかし、特に人口減少が進みゆく離島においては、移住者を必要としている島も多いです。そして、大変なぶんだけやりがいも大きく、都会ぐらしでは味わえないような刺激的な毎日になるはずです。「やりたいことをやりたい」「楽じゃなくても楽しくありたい」と思える人は島暮らしに向いているかと思います。